

日曜日の相棒さがしー
さそう前に、～ing でたしかめる

Class_____ No._____ Name_____

 **今日のゴール**

やりたいことを want to で、「すること」を ～ing でつたえて、いっしょに行く相棒を見つけよう。

STEP 1 お手本を読んで、声に出してまねしよう。

Sunday Karaoke
① I **want to** go to karaoke this Sunday.（やりたいこと）
② Do you like **singing**?（「すること」で、たしかめる）
▼ 相手のこたえで決まる
Yes, I do. I **enjoy singing**! — Let's go together!（相棒せいつ）
Sorry, I like **listening** to music.（同じ music 好きでも、相棒になれないことがある）

like・enjoy・be good at のあとの「動き」は 動詞＋ing（～すること）、want のあとは to＋動詞—ドリルでやった相棒ルールの実戦。②をとばして①だけでさそうと、カラオケに着いてから「歌うのはちょっと…」の事故が起きる。

STEP 2 使える表現（この中から選んで使おう）

I want to ～.

Do you like ～ing?

Yes, I do. / No, I don't.

I like [enjoy] ～ing.

I'm good at ～ing.

Let's ～ together.

Sorry, I like ～ing.

Me, too.

Good idea!

STEP 3 今度の日曜日にやりたいことを3つ書いて、それぞれの「すること」を ～ing にしよう（左のらんは日本語でよい）。

れい：カラオケ → singing／プール → swimming／映画 → watching movies／公園でサッカー → playing soccer

	やりたいこと（日本語でよい）	たしかめる「すること」（英語の ～ing）
①		
②		
③		

STEP 4 メモを英語にしよう。〈やりたいこと → たしかめる質問〉を1組にして、3組ぶん書く。

✓ お手本と表現バンクを見ながらでOK。まちがいを恐れず、まず書いてみよう。

日曜日の相棒さがしーさそう前に、～ing
でたしかめる【つたえる・ふりかえる】

Class _____ No. _____ Name _____

STEP 5 教室を歩いて、日曜日の相棒を見つけよう。

できたらチェック：

- ☐ ① 〈I want to ～. → Do you like ～ing?〉の順で聞く（いきなり Let's と言わない）
- ☐ ② Yes, I do. が返ってきたら Let's ～ together! で相棒せいりつ
- ☐ ③ Sorry, ～ とことわられたら、相手の ～ing を右のらんにメモして次の人へ
- ☐ ④ 相棒ができたら、2人で先生に We like ～ing! と報告する

相棒の名前と、いっしょにする「すること」	ことわられてメモした みんなの ～ing

自己評価 できたところに ○ をつけよう（正直に！）

ふりかえりの観点	◎ よくできた	○ できた	△ もう少し
① 内容 言いたいことが相手に伝わった			
② 正確さ 習った表現を正しく使えた			
③ 流暢さ あまり止まらずに言えた			
④ 態度 相手を見て、聞こえる声で言えた			

ふりかえり 次はどうしたい？ できるようになったこと・次の目標を1つ書こう。

☆発展チャレンジ！ 「好き」と「得意」は別もの。but でつないで、ほんとうの自分を1文にしてみよう。I like singing, but I'm not good at it. —それでも相棒がいれば、日曜日は楽しい。

先生へ（この教材のねらいと進め方）

ねらい：中Iで先取り登場する like ～ing を、自己紹介の3文で終わらせない。名詞の「好き」だけでは人をさそえない場面を作り、動作までたしかめる道具として ～ing を使わせる。導入（同じ好き、ちがう好き）→定着（はじめてドリル）→このI枚で、中Iの動名詞が一本道になる。

この材料を選んだ理由：「好きなことを書きなさい」なら I like music. で足りてしまう。さそう場面だけは、カラオケ→singing のように、やりたいことの中から「すること」を取り出さないと確かめの質問が作れない—～ing への変換そのものが、さそいの下調べになる。

対応単元：Here We Go! I Unit 3「Enjoy the Summer」（夏実施なら「夏休みにやりたいこと」へ差し替え）／BLUE SKY I Unit 8「Jin in London」（冬実施なら「冬休み」に）。like ～ing と want to が出そろっていれば、どの教科書でも使える。

進め方・見取り：やりたいことが1つだと最初の No で止まるので、STEP 3で必ず3つ書かせる。見るのは、like・enjoy のあとが ～ing か／want のあとに ing を直づけしていないか（×I want singing）／②の質問をとばして Let's からさそっていないか。評価は裏面の4観点で。

△ 使う文法の範囲：like・enjoy・be good at+～ing／want to／Do you like ～?／Let's ～（小学校既習）だけで組んでいます。三人称単数・進行形・過去形は使いません—Here We Go! I Unit 3（I学期）の時点でもそのまま使えます。